

平成30年度 さいたま市立三橋中学校 学校だより



# 架け橋

第4号

(平成30年7月2日発行)

ホームページ：<http://mihashi-j.saitama-city.ed.jp/>

E-mail：[mihashi-j@saitama-city.ed.jp](mailto:mihashi-j@saitama-city.ed.jp)

学校教育目標：ゆたかに・かしこく・たくましく

「仁」

校長 永岡 良規

さいたま市学校総合体育大会が終わりました（一部の競技は今後開催）。運動部の3年生にとっては最後の大会でした。どの部も戦いぶりは見事で、3年生は立派に有終の美を飾ってくれました。全国大会出場を決めた陸上部の山崎結子さんをはじめ、県大会へ駒を進めた男子ソフトテニス部、剣道部、バドミントン部については、最後まで三橋中生らしい戦いを見せてほしいと願っています。

ところで、さいたま市では、毎年6月を「いじめ撲滅強化月間」と位置づけ、各校で様々な実践をしていますが、本校でも先日の全校集会で、校長講話として次のような話をしました。

平成25年に「いじめ防止対策推進法」という法律ができて以来、「いじめ」という言葉が明確に定義されました。これまでに「いじめ」とされたケースを全国的に見てみると、様々な場合がありますが、特に注目したいのは、「人が傷つく言葉を発したり、人が傷つく態度を取ったりすることです。」

ここにいるみんなが顔つき、体つき、性格などが決して同じでないように、傷つく言葉や傷つく行為も人それぞれです。自分は言われても平気だという自分本位な基準でこの言葉は傷つかないだろうと判断することは危険です。傷つくか傷つかないかは相手が決めることだからです。ですから、人に向かって言葉を発するときはこのことをしっかり考える必要があります。そして、それはそんなに難しいことでもないと思います。三橋中の今年のキーワードの一つである「温かさ」をもっていれば、人を傷つける言動をしてしまうことはないはずで

人を傷つけるような言葉や態度はいじめです。そして、いじめは卑怯な行為です。自分勝手な行為です。許されない行為です。君たちはいかなる理由があろうと、絶対にいじめをしてはいけ

ないし、いじめを許してもいけないし、いじめを見て見ぬふりをしてはいけないのです。もちろん先生たちも絶対に許しません。

君たちは「仁」という漢字を知っていますか。人が二人と書く字です。広辞苑で調べると人への思いやりという意味をもっている漢字です。このことについて、ある作家は「地球上で二人が顔を合わせたら、そこには一つの約束がある。何だと言ったら、相手の立場に立ってものを考えようという約束である。それが「仁」です。いわゆる思いやりです。」と言っています。ここにいる君たちみんなが学校で出会い、生活していく者たちの互いの約束である「仁」を忘れなければ、三橋中は必ずいじめ0の学校になるはずで

今年のキーワード「温かさ」と「粘り強さ」を再確認して、さらによりよい学校づくりを進めていきたいと思います。